

嵐山町は、3人に1人が65歳以上

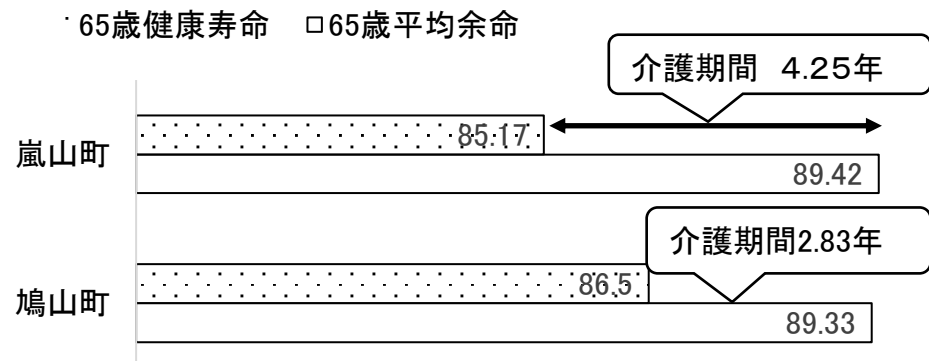
■嵐山町の65歳以上の人は5970人・高齢化率33.3%

右のグラフは、介護保険認定の状況です。
912人が介護保険の対象で、町民の5%が介護保険対象者です。

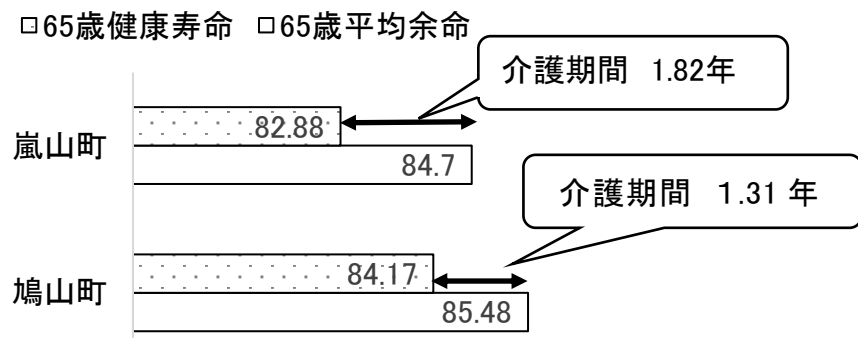
■嵐山町の65歳の平均余命と健康寿命は

下のグラフは、全国幸せランキング1位の鳩山町と嵐山町の比較です。
政策によって市町村格差があります。

65歳女性の健康寿命と平均余命(歳)



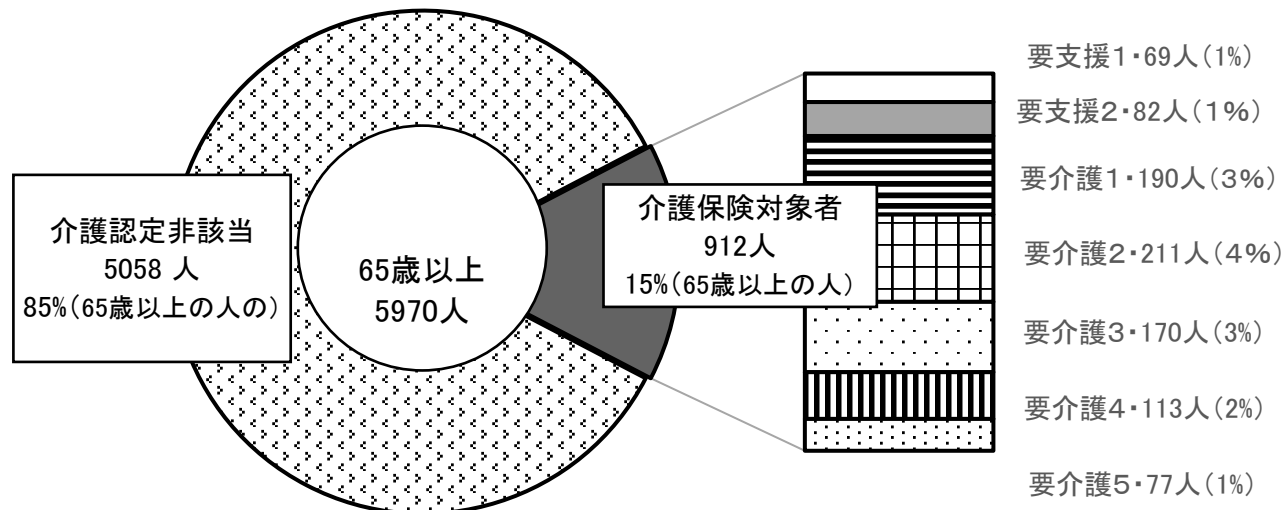
65歳男性の健康寿命と平均余命(歳)



■鳩山町の特徴

- ・高齢化率 45.5%,介護保険認定率 12.2%
(嵐山町高齢化率、33.3%、介護保険認定率 15.2%)
- ・駅がないため、バス・乗合タクシーの予算が充実(国からの予算がある)
町内は予約すると1回200円で家から乗り降りができる。
埼玉医大まで予約すると1回600円でバスが利用できる。
- ・健康長寿の秘訣を「運動、栄養、社会参加」と分析し、健康寿命を延ばすために健康づくり事業が活発(町内4カ所で健康教室、地域で小さな単位の体操グループがあります)。
健康事業や体操グループに行くのに乗合タクシーが使えます。
- ・在宅の中重度の方のデイケア(看取りも)があります。(県内3ヶ所のみ)
- ・本年度の予算は鳩山町デマンドタクシー運行経費 3275万円(国の交付金があるため鳩山町負担 655万円)(嵐山町タクシー補助券880万円)

嵐山町65歳以上の介護保険認定



■埼玉県では、要介護2までを健康寿命としています。

■町民20人に1人、介護認定されています。全面的に介助が必要な要介護3、4、5は町民50人に1人です。

■厚生労働省調査では介護保険利用者は 男性は「80～84歳」23.2% 女性が「90歳以上」28.6% が最も多くなっています。

■介護が必要になった主な原因は

	第1位	第2位	第3位
総数	認知症 17.6%	脳卒中 16.1%	高齢による衰弱 12.8%
要支援	関節疾患 18.9%	高齢による衰弱 16.1%	骨折・転倒 14.2%
要介護	認知症 24.3%	脳卒中 19.2%	骨折・転倒 12.0%

2019年6月(厚生労働省・介護保険の概略(令和4年)より)



交通空白地帯

地域公共交通では駅から1km、バス停から300～500m以上離れている場所を交通空白地帯といいます。

北部地区は、交通空白地帯に該当します。北部地区に「地域公共交通会議」を設置して住民や事業者で、北部地区をスタート地点とし、医療機関を結ぶ地域交通をつくることを提案します。「地域公共交通会議」を設置して、独自の交通を作る場合、国は、補助金、特別交付税を自治体に交付します。

人口の高齢者比率の増加は2042年まで続きます。地域で100歳まで笑って暮らせる仕組みは？

困っていることは、どんなこと？

- ・安否確認は誰にお願いしていますか
- ・電話でSOSが出せる人がいますか。
- ・ゴミは、一人で収集場所に持っていきますか。
- ・知人と会ってお話することができていますか。
- ・体操教室や趣味の集まりは近くにありますか。

外出はできていますか？

- ・医療機関に気軽に受診できますか。
- ・横断歩道は安心して渡れますか。
- ・歩道は隙間・凸凹・傾きは大丈夫ですか
- ・買い物の荷物は家まで運べますか。
- ・自転車・シニアカー・カートで、移動は安全ですか。

